

「危機の時代」と指導者の条件 —野田首相は「無力政治」を打破できるか

ノンフィクション作家、評論家 塩田潮



- *「振り子の原理」を取り入れた？
- *三重苦に加え三つの危機と三つの壁
- *信用不安の回避で国際公約
- *政策決定のシステムを見直し
- *財務省との「一人三脚の功罪
- *「無力政治」をどう打破するか
- *運で乗り切った四つの大きな試練
- *フォロワーシップを大事に
- *危機の時代のリーダー四条件
- *野田首相の賞味期限と政権の寿命

浅野 それでは開会いたします。（拍手）

塩田潮さんは経済俱楽部の常連講師ですから改めて紹介の必要はありませんね。この一年間で著書を四冊というハイペースで書いておられます。『民主党政権の真実』は去年秋口に出されて、ご紹介しました。『辞める首相 辞めない首相』はお手元のレジュメに産経新聞の書評を載せてあります。

『まるわかり政治語辞典』がとても面白かつ

たので、講演録10月号の『読書通信』で絶賛し

ておきました。お読みになつた方は買ってくだ

さつているかもしれません。これは書き下ろし

の労作です。もし面白くなかったら私が買ひ取

つてもかまいません。（笑）それでは塩田さん、よろしくお願ひいたします。（拍手）

「振り子の原理」を取り入れた？

野田政権は今、本格的な国会を迎えています。

政権誕生後、臨時国会は2回目ですけれども、12月9日まで51日間の国会を戦っているところです。最初の焦点は第3次補正予算ですけれども